

《SAFプログラム運営の概要》

- ◇ **対象年齢**：小学校5年生以上（それ以外の学年については、ご相談ください。）
 - ◇ **実施可能人数**：8人以上20人以下のグループ、もしくは、学級単位（40名以下）で実施可能
 - ◇ **所要時間**：3時間程度
 - ◇ **指導体制**：1グループに福山少年自然の家職員1名が、ファシリテーターとしてプログラム進行
 - ◇ **プログラムの展開**
 - 実施団体の活動のねらいや要望、参加者の実態などを踏まえ、**プログラム展開案を作成**します。
 - 活動中の参加者の状況に応じて**プログラム展開を最適なものに修正**しながら進行します。
- ※ 「SAFプログラム運営の概要」に示してある内容以外の実施を希望される場合はご相談ください。

参加者が課題解決に向けたアクティビティ（活動）に取り組みながら活動を振り返ることで、「規範意識を高めること」「協調性を高めること」「コミュニケーション能力を高めること」「挑戦する力を高めること」など、全ての項目において、**98%以上の実施団体でよい効果が見られ、満足度が高いプログラム**となっています。

《子供から大人まで活用できるSAFプログラム》

＜小学校＞

◇ 集団宿泊活動での活用

集団宿泊活動の充実を図るとともに、児童が集団宿泊活動を通じて得た「学び」を日常生活（学校生活や家庭生活）に生かすことができます。

＜中学校・高等学校＞

◇ 新入生のスタートアップ研修

複数の学校から集まった生徒たちを対象として、「お互いのことを知る」など、集団の基礎をつくることができます。

◇ 生徒会役員を対象にした研修

生徒会役員を対象に、リーダーシップの向上を図ることができます。

◇ クラブ活動のチームづくり

クラブ活動に必要なチーム力を高めること（チームビルディング）ができます。

＜大学・専門学校＞

◇ スタートアップ研修

学生生活がスタートしたばかりの学生たちのつながりを強めることができます。

＜スポーツ少年団＞

◇ 各種スポーツのチームワークづくり

サッカーや野球など、各種スポーツのチーム力を高めることができます。

＜企業＞

◇ 新入社員研修

新入社員の主体性や協調性、コミュニケーション能力の向上を図ることができます。



良好な人間関係づくりを促進する

SAFプログラム

広島県立福山少年自然の家では、アメリカで開発された冒険教育（体験学習法）の一つである「プロジェクトアドベンチャー（以下「PA」という。）」の理論や手法等を生かした活動プログラム『SAF（サーフ）プログラム』を実施しています。

※ SAFとは、「Step of Adventure with Friends」の頭文字を取り、『仲間とともに、冒険の一步を踏み出そう!!』という意図を込めた名前です。

SAFプログラムは、
「学びの変革」を目指す「主体的な学び」を
促進する教育活動です！！

主体性

コミュニケーション



自ら考え、
物事に進んで取り組む力



自分の考えを伝え、
他者の意見を受け止め
ながら意思疎通を図る力

SAFプログラムのねらい

福山少年自然の家の自然環境（非日常）の中で、楽しみながら課題解決に取り組むグループ活動を通して、4つの力を育成します！！



チャレンジ
精神

困難だと思う課題に対して
果敢に挑戦する力



自他の考え方の違いを認め
仲間と力を合わせ取り組む力

協調性

《お問合せ先》

広島県立福山少年自然の家【〒720-0542 広島県福山市金江町藁江619-2】
電話：084-935-7166 ファクシミリ：084-935-7179
電子メール：fsshizen@pref.hiroshima.lg.jp
ホームページ：https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/fukuyamashonen/

SAFプログラムの
詳しい内容はWebを

クリック

広島県立福山少年自然の家

《SAFプログラム実施の流れ》

日常生活

次の体験活動

【プログラム実施（概要）】

【事前】

2週間前

実施目的・参加者の実態把握のための連携

1週間前

福山少年自然の家職員によるプログラム展開案の作成

直前打合せ

直近の参加者の状況などの確認

STEP1

参加者の気持ちや体の緊張をほぐす活動



振り返り

STEP2

安心して活動することのできる雰囲気などをつくる活動



振り返り

STEP3

課題に対して、目標や作戦を立てるための話し合い活動



振り返り

STEP4

困難だと思える課題を解決するために取り組む活動



振り返り

「楽しむ」ための

3つの約束

一生懸命

安全

フェア

課題発見・解決学習

＜ファシリテーターの役割＞

専門的な研修を重ねた福山少年自然の家職員が、ファシリテーターとして中立的な立場で完全指導を行いながら、次の役割を担います。

- ◇ 参加者が、課題に対して能動的・意欲的に取り組めるように促します。
- ◇ 体験から「気づき」などの「学び」が得られるようにプログラムを進めます。

《SAFプログラム実施後の声》

＜参加者の声＞

- ◇ 仲間と協力し、相手をおもいやり、失敗しても責めないことの大切さがとてもよくわかりました。
- ◇ 勇気を出して一歩踏み出すことで、人の役に立つこともあるのだとわかりました。勇気を出して苦手なことに挑戦したいです。

＜引率指導者の声＞

- ◇ 日頃は自分の価値観を押し付けようとする児童が、友達の違う意見や考え方を理解しようとする姿に変化していました。
- ◇ ただ楽しいだけでなく、指導者が明確なねらいをもって進める点が大変参考になりました。

